

会長挨拶

東京都学校薬剤師会会長 井上 優美子

日頃より(一社)東京都学校薬剤師会の会務にご協力いただき心より御礼申し上げます。

平成27年3月26日の代議員会において、(一社)東京都学校薬剤師会会長に再選させていただきました。今後、平成29年3月までの2年間、前年度と同じ役員構成で会務に励む所存でございます。ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

新年度の役員を紹介します。

会長	井上 優美子
副会長	石川 哲也、岡本 繁雄、杉本 カヅ
理事	朝木 多貴子、安西 眞理子、井戸 久夫 亀崎 信明、田中 恭子、田中 順子
監事	川名 信一、橋本 孝雄

さて、日本薬剤師会学薬部会の活動も停滞している中、東京都学校薬剤師会は会員の資質向上のため、各種講習会開催や実務に役立つ資料の提供、情報の発信などを行って参りました。

学校薬剤師の職務は、学校保健安全法にもあるように、学校環境衛生検査に従事し、指導、助言を行うことが基本であると考えています。

そのための活動として、各種講習会の開催、啓発資料の作成などを行い各会員に配布しています。当会の委員会の活動を紹介します。

総務委員会：会の運営が適切に行われるよう、定款、規則などを常時見なおしています。

広報委員会：年3回の都学薬だよりの発行、ホ

ームページ作成などにより会員に情報を発信しています。

薬物乱用防止・くすりの正しい使い方委員会：学校、地域での指導に役立つような薬物乱用防止教室用CDを作成。今年度は危険ドラッグに特化した内容になっており、全会員に配布いたします。

学校環境衛生委員会：「給食室の衛生管理(ゴキブリ調査)」給食室のゴキブリ調査も8年目に入りました。給食室の衛生管理の在り方について学校に指導、助言するとともに、大会において発表を予定しています。賛助会員各社のご協力を得ながら「学校薬剤師基礎研修会」も引き続き開催いたします。

学校環境衛生 Q&A も作成中です。検査時に持参しやすいよう耐水性の「学校環境衛生のしおり」も作成しました。ご活用ください。

また今年度より東京都学校薬剤師会 85 年史発行に向けて準備に入ったところです。

区市町村で地道に活動しておられる学校保健功労者の表彰(叙勲も含む)にも力を入れてまいります。



平成27年度アルコール健康教育を实践された方は、ご報告下さい。 旅費を助成します

学校において、アルコールの害に関する講演(お話)をされた方、都学薬にご連絡下さい。所定の報告書に記入し、提出(FAX03-3518-4708)していただければ旅費として3,000円(振込手数料込み)を助成します。事前に申し出いただければアルコールに関するパンフレット等に資料(公益社団法人アルコール健康医学協会作成)も配布人数分用意します。また、都学薬作成のCD(アルコールの害)もご利用下さい。

(平成25年度、26年度の旅費は、平成27年6月に振り込み手数料を引いて振り込みます。)

開催行事参加報告

平成 26 年度 学校保健（学校薬剤師） 研修会

亀崎 信明

平成 26 年 9 月 24 日、(一財)東京都学校保健会、東京都教育委員会、及び当会主催の標記研修会が都庁都民ホールで開催されました。学校薬剤師 200 名超参加、司会は井戸理事、教育庁都立学校教育部学校健康推進課長 尾本 光祥氏、当会会長 井上優美子の挨拶で始まり、①当会副会長 石川 哲也による「学校環境衛生に関わる諸課題」②教育庁都立学校教育部学校健康推進課 杉浦 規男氏による「学校薬剤師の職務について」の講義がありました。

①では、学校環境衛生基準が各学校や地域の実情により柔軟に対応できるように作られていることが説明され、文部科学省は一律完全実施までは求めていないと理解しました。問題提起として、基準値に「望ましい」と「以下であること」が混在していること、・・・又はこれと同等以上の方法により、検査項目・・・の、同等以上の方法が分かりにくいこと、浮遊粉じん・二酸化窒素・プール水の測定項目総トリハロメタンの測定は必要ですか、座高の測定をしなくなった場合、机・いすの高さは何を基準に決めるのですか、検査結果の保存期間の整合性等々を上げられました。学校環境衛生マニュアルでは、学校保健委員会の回数、ビル管と基準が異なる場合の対応、黒板面の照度基準、騒音が著しく基準値を下回る場合、照度測定時の教室内状況、プール水の採水場所と検査項目の整合性、水泳プール日常点検表(例)の不備等々については、検証と見直しが必要と提言があり、次回発刊では修正されていることを期待します。特定建築物に該当する学校において、ビル管と基準が異なる場合の対応では、ビル管の基準を学校薬剤師がとれば、学校薬剤師と学校環境衛生基準の存在を自ら否定することになりかねません、個人的にはどちらが優先ではなく、学業は学校環境衛生の基準で、ビル管はビル管の基準で業務を行えば良いのではないかと考えております。学校環境衛生に課題が沢山あることが分かりました、今一度学校環境衛生基準を深読みして、しっかり理解しなければ、という気持ちになりました。

②では、環境衛生・日常点検に対する設置者及び学校の認識不足を挙げられ、顔が見える学業から学校保健への認識の向上に繋げるために(1)学

校環境衛生基準の把握。(2)担当校の現状の把握。(3)問題点への適切な指導・助言、更に「薬物乱用防止」「薬の正しい使い方」教室の講師依頼は断らないようにと依頼がありました。

東京都の各種対応状況は、(1)都立学校における室内化学物質の全校検査では、2.4%でホルムアルデヒドが基準値を超えたこと。(2)デング熱に対する薬剤散布状況。(3)プール対応についての説明がありました。

第 11 回学校環境衛生基礎研修会

田中 順子

平成 26 年 9 月 25 日(木)、中央区総合スポーツセンターの会議室において当会主催で標記の研修会が開かれた。テーマの「頭ジラミと衛生害虫」では(株)アイデックの色摩操氏に講師をお願いした。

はじめに岡本副会長から、ねずみ・衛生害虫等の法的概論、チカイエカ・アカイエカ、殺虫剤の種類などの説明を行い、続いて色摩氏にシラミについての講義と実習指導をしていただいた。

ヒトに寄生するシラミにはアタマジラミ、コロモジラミ、ケジラミがあるが、児童に感染が多いため学校で問題になるのはアタマジラミである。DDT、BHC 等の有機塩素系殺虫剤の使用禁止以来、使用できる薬剤がほとんどなかったが、ピレスロイド系殺虫剤スミスリンが発売されてからは、現在までスミスリンが最も多く使用されている。しかし、近年スミスリンに抵抗性を持つアタマジラミが増加してきている。スミスリンシャンプーを数回使用しても効果がない場合は使用を中止してアタマジラミ専用の梳き櫛を使って駆除することになる。アタマジラミの成虫は 3～4 mm で吸血した血液の色が消化管を通して透けて見える。足に発達した鉤を持ち頭髪の中では素早く移動するので発見が難しい。卵は頭皮から 1 cm 以内、多くは耳の後ろ等に産み付けられ、セメント状のもので付着していて容易にとれない。成虫や幼虫が増加すると激しいかゆみが生じるが、それは吸血時に注入される唾液に対する IgE 抗体が関係していると考えられる。

持参していただいた卵の見本や梳き櫛など初めて見る物も有り大変勉強になる研修会であった。

第 64 回全国学校保健研究大会

安西 眞理子

平成 26 年 11 月 6・7 日両日 北陸新幹線の開通も近づいていた石川県金沢市にて上記大会が開催されました。初日の全体会の開会式に続いて行われた表彰式では、一般社団法人東京都学校薬剤師会江戸川支部の藤井修先生が文部科学大臣表彰を受賞されました。深く敬意を表しますとともにお祝い申し上げます。その後、聖心女子大学教授の植田誠治先生による「学校における健康教育を未来に生きる子供たちのために」と題して記念講演がありました。

2 日目は課題別研究協議会が第 1～10 課題に分かれ行われました。第 10 課題（喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育）では、近年 青少年の喫煙や飲酒、薬物乱用が広がりを見せ、依然として深刻な状況にあることから、安全で豊かな社会と自らの健康を守り育てるための教育を充実する必要がある、そのため、発達の段階に即し、喫煙や飲酒、薬物乱用防止教育を推進する方法について協議することを趣旨として研究協議が行われました。正しい知識の理解が子供たちの適切な意思決定・行動選択につながり、健全な自尊心を持ち学校教育の基本的目標である「生きる力」の形成に寄与するものと考えられるのではないのでしょうか。

東京都学校薬剤師会新年賀詞交歓会

朝木 多貴子

平成 27 年 1 月 10 日(土)午後 2 時からホテルグランパシフィック LE DAIBA にて一般社団法人東京都学校薬剤師会の新年賀詞交歓会が行われた。

来賓、各支部長、賛助会員等が参加され盛会であった。田中（恭）理事の司会のもと井上会長の挨拶があり、続いて参議院議員藤井もとゆき氏、東京都学校薬剤師会副会長上村直樹氏、東京都教育長地域教育支援部長前田哲氏、東京都学校保健会常務理事正木忠明氏、東京都学校歯科医会副会長由井孝氏、参議院議員中川雅治氏ら各氏からお祝辞を頂戴した。

参議院議員藤井もとゆき氏は文部科学副大臣となられ当会後もすぐ地方の会議にご出席されるというご多忙の中で出席していただいた。藤井氏は今話題となっている危険ドラッグについて触れられた。平成 25 年に骨格規制の導入、平成 26 年には脱法ドラッグを危険ドラッグと名称変更した。危険ドラッグは中枢神経に作用し、意識消失、呼吸停止、幻覚妄想、興奮を引き起こし麻薬、大麻、覚せい剤と同等またはそれ以上の害があると推測され、健康への悪影響が懸念されている。今まで合法ドラッグだから安全と誤解され、経口摂取や喫煙等の方法で体に摂取し自己コントロールができず依存症となり、健康障害、異常行動がみられている。私共学校薬剤師としてこれから益々啓発活動に力を入れていかなければと身の引き締まる思いであった。

来賓紹介があり川名理事の乾杯の後、各テーブルともに新年を迎えるの抱負等の会話で弾んでいた。井戸理事の閉会の辞で余韻を残しつつ、お開きとなった。

代 議 員 会 報 告

平成 27 年 3 月 26 日全水道会館において代議員会が開催された。概要は、以下のとおりであった。

報告事項

第 1 号 平成 26 年度会務並びに事業中間報告

第 2 号 平成 26 年度決算中間報告

議 案

第 1 号 平成 27 年度事業計画案

日本学校薬剤師会の活動が停滞している中、平成 26 年度はくすりの正しい使い方パンフレット、薬物乱用防止 CD「アキコとフユオ編」作成、学校環境衛生のしおり作成、教本Ⅲ学校薬剤師のための学校環境衛生 Q&A（作成中）など活発に事業を展開してまいりました。会員の資質の向上のため一層の努力を致します。そのため、会員一人一人に情報が伝達できるようにいたします。また、学校薬剤師支援委員会を充実するとともに、協賛会員との情報交換を密にし、質の高い情報を会員に提供します。（以下略）

第 2 号 会費賦課額の件

1 校の場合：14,000 円、2 校の場合：25,000 円、3 校以上：35,000 円

第 3 号 平成 27 年度歳入歳出予算案

下記案は、了承された。

平成27年度 収支予算 (案)

自：平成27年4月1日 至：平成28年3月31日

単位千円

科 目	予 算		増 減	備 考
	26年度	27年度		
収入の部				
1、会 費	16,170,000	15,970,000	△ 200,000	
2、委託金収入	1,000	1,000	0	
3、補助金	300,000	300,000	0	
1) 都学校保健会	300,000	300,000	0	
4、雑収入	305,000	255,000	△ 50,000	
1) 利息収入	5,000	5,000	0	
2) 諸雑収入	300,000	250,000	△ 50,000	
合 計	16,776,000	16,526,000	△ 250,000	

(正会員)

14,000×550 7,700,000

25,000×193 4,825,000

35,000×71 2,485,000

(賛助会員)

60,000×16 960,000

支出の部				
1、事業費	3,840,000	3,790,000	△ 50,000	
(1) 環境衛生薬事衛生対策費	3,840,000	3,790,000	△ 50,000	
1) 研究費	500,000	500,000	0	
2) 情報収集費	100,000	100,000	0	
3) 機器・備品整備費	20,000	20,000	0	
4) 大会講習会費	900,000	800,000	△ 100,000	
5) 研究協議会費	650,000	650,000	0	
6) 薬物乱用防止対策費	800,000	850,000	50,000	
7) 印刷製本費	770,000	770,000	0	
8) 表彰費	100,000	100,000	0	
2、管理費	6,523,000	6,466,000	△ 57,000	
1) 役員報酬	840,000	840,000	0	
2) 給料手当	950,000	950,000	0	
3) 臨時雇用賃金	10,000	10,000	0	
4) 福利厚生費	40,000	40,000	0	
5) 支払リース料	363,000	366,000	3,000	
6) 旅費交通費	200,000	150,000	△ 50,000	
7) 通信運搬費	800,000	700,000	△ 100,000	
8) 什器備品費	20,000	10,000	△ 10,000	
9) 消耗品費	250,000	250,000	0	
10) 修繕費	10,000	10,000	0	
11) 水道光熱費	200,000	250,000	50,000	
12) 賃借料	1,700,000	1,650,000	△ 50,000	
13) 租税公課	10,000	10,000	0	
14) 事務委託料	300,000	300,000	0	

15) 手数料	15,000	15,000	0	
16) 渉外費	600,000	600,000	0	
17) 理事実費弁償	200,000	300,000	100,000	
18) 雑費	15,000	15,000	0	
3、会議費	1,700,000	1,600,000	△ 100,000	
1) 支部長会費	100,000	100,000	0	年2回開催
2) 代議員会費	500,000	500,000	0	
3) 役員・理事会費	700,000	600,000	△ 100,000	
4) 委員会費	400,000	400,000	0	
4、支部運営費	4,545,000	4,503,000	△ 42,000	
1) 支部運営費	4,545,000	4,503,000	△ 42,000	
5、積立金	50,000	50,000	0	
1) 記念誌積立金	50,000	50,000	0	
6、法人税等	70,000	70,000	0	
1) 法人住民税	70,000	70,000	0	法人住民税均等割
7、予備費	48,000	47,000	△ 1,000	
支出計	16,776,000	16,526,000	△ 250,000	

第 4 号 選挙規定改定の件

全会一致で可決

第 5 号 役員選挙

(理事) 井上優美子、朝木多貴子、安西真理子、石川哲也、井戸久夫、岡本繁雄、
亀崎信明、杉本カズ、田中順子、田中恭子 (会長指名)

(監事) 川名信一、橋本孝雄 (会長指名)



2015 年版 「学校環境衛生基準しおり」 が完成しました。

4 月中に会員全員に配布します。
しおりは、学校環境衛生基準をコンパクトに
まとめたものであり、学校に行った際に、基準を
確認しながら、指導助言ができるようになっている
便利なものです。
破れにくく、水にぬれても大丈夫です。



今年度の研修会・行事等予定

都立学校建築物環境衛生管理技術者講習会及び学校薬剤師講習会 (都庁：議会棟 1 階都民ホール)	平成 27 年 5 月 20 日 (水)
学校環境衛生基礎研修会 (中央区立総合スポーツセンター)	平成 27 年 6 月 18 日 (木)
	その他未定
第 11 回健康づくりフォーラム (都庁：都民ホール)	平成 27 年 7 月 30 日 (金)
東京都公立学校学校薬剤師研修会	平成 27 年 8 月 3 日 (月)
第 25 回アルコール健康教育研修会 (東京工科大学)	平成 27 年 8 月 21 日 (金)
第 24 回薬物乱用防止研修会 (東京工科大学)	平成 27 年 8 月 22 日 (土)
第 66 回関東甲信越静学校保健大会 (静岡)	平成 27 年 8 月 27 日 (木)
平成 27 年度学校薬剤師指導者研修会 (新宿文化センター)	平成 27 年 10 月 29 日 (木)
平成 27 年度学校環境衛生・薬事衛生研究協議会 (宮崎市)	平成 27 年 11 月 12,13 日 (木、金)
第 47 回日本薬剤師会学術大会 (鹿児島市)	平成 27 年 11 月 22,23 日 (日、月)
第 65 回全国学校薬剤師大会 (松山市)	平成 27 年 12 月 3 日 (木)
第 65 回全国学校保健研究大会 (松山市)	平成 27 年 12 月 3,4 日 (木、金)
平成 27 年度東京都教育委員会学校保健給食表彰式	未定

会員登録
だけでも
無料で
参加
できます

学校薬剤師基礎研修会のお知らせ

日時：平成 27 年 6 月 25 日 (木曜日) 18:00

場所：中央区総合スポーツセンター第 1 第 2 会議室

内容：その他の空気 (浮遊粉じん、二酸化炭素、二酸化窒素等) の測定方法

講師：柴田科学、東京顕微鏡院

薬物乱用防止教育パートⅡ完成ま近！

すべての会員のお手元に配布します
薬物乱用防止教室にご活用ください



<東京都学校薬剤師会会員限定CD>

- ・小学校高学年以上を対象
- ・手持ちのパワーポイントとの編集が可能 (もちろん、パートⅠと合わせてOK)
- ・パートⅡは脱法ドラッグを詳しくSA



一般社団法人東京都学校薬剤師会事務局

〒101-0054 千代田区神田錦町2-5 第一大隆ビル302

東京都学校薬剤師会へのご意見・お問合せは FAX でお願いします

FAX: 03 (3518) 4708 TEL: 03 (3518) 4707